2026 年 10 月 1 日

各　位

SBI ホールディングス株式会社
SBI インベストメント株式会社

阪急阪神ホールディングス株式会社と SBI インベストメント株式会社による コーポレートベンチャーキャピタル 2 号ファンドの共同設立に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社で、ベンチャーキャピタルファンドの運用・管理を行うSBIインベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、阪急阪神ホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 グループCEO：嶋田 泰夫、以下「阪急阪神HD」）と共同で、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）2号ファンド「阪急阪神イノベーションパートナーズ2号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）を設立いたしましたので、お知らせいたします。

阪急阪神HDは、「都市交通」「不動産」「エンタテインメント」「情報・通信」「旅行」「国際輸送」の6つの事業領域をコア事業と位置付け、阪急・阪神沿線を基盤に幅広い事業を展開しています。同社は2021年4月に当社と共同で「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合」（ファンド規模30億円、以下「1号ファンド」）を設立しました。1号ファンドを通じて、様々な分野におけるスタートアップ企業の優れた知見や先端技術を協業・共創によって取り入れ、同グループとの事業シナジーの創出ならびに新しい事業の創造を推進すべく、これまで積極的に出資を実行してまいりました。

阪急阪神HDは、2025年3月に発表した「長期経営構想　深める沿線 拡げるフィールド」に掲げる戦略の実現を加速させるべく、1号ファンドで得た知見と実績を踏まえ、この度、規模を40億円に拡大した本ファンドを当社と共同で設立しました。本ファンドでは、1号ファンドの投資領域である「既存事業との事業シナジーの創出」に加え、「中長期を見据えた新規事業領域の開拓」「事業基盤の付加価値向上に向けた新産業創出支援」という3つを主な投資領域とします。

これらの領域において、既存事業とのシナジー創出に向けては、既存事業の枠にとらわれない技術やビジネスモデルを有するスタートアップ企業への出資を通じて、新サービスの創造や業務の効率化、生産性の向上等を図ります。新規事業領域の開拓に向けては、既存事業の延長線上にはない新たな技術分野や市場トレンドへの投資を通じて、中長期の成長ドライバーとなる事業の種を発掘します。また、新産業創出支援に向けては、社会課題の解決やSDGs・ESGへの貢献につながるスタートアップ企業や、関西における研究開発型スタートアップ、関西圏への事業展開を企図するスタートアップ企業等への出資を通じて、同グループの事業基盤である梅田を含む沿線へのスタートアップ企業・産業の集積にも取り組みます。

当社は SBI グループの PE 投資事業における中核的企業であり、「新産業クリエーター」として、AI、ブロックチェーン、フィンテック、ロボティクス、ヘルスケアなど多様な成長領域において、ベンチャー企業に投資を行っています。昨今はオープンイノベーションを通じて社会課題を解決する手段の 1 つとして、事業会社による事業シナジーを期待できるスタートアップ企業への投資が積極的に行なわれており、当社が運営する CVC ファンドの累積出資約束金額は 1,865 億円、また 2 号ファンド設立は本件を含め 6 社で業界最多となっています（※）。当社はこれまでに培ったネットワークや企業育成の知見を活かし、事業会社の投資先企業との事業提携や資本提携を支援するとともに、今後も日本経済の活性化に貢献してまいります。

（※）2026 年 10 月 1 日時点、当社調べ。

【本ファンドの概要】

ファンド名	阪急阪神イノベーションパートナーズ2号投資事業有限責任組合
設立日	2026年10月1日
ファンド規模	40億円
運用期間	10年間
運用会社	SBIインベストメント株式会社
投資領域	既存事業との事業シナジーの創出 中長期を見据えた新規事業領域の開拓 事業基盤の付加価値向上に向けた新産業創出支援

以上

＊＊

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBI ホールディングス株式会社　コーポレート・コミュニケーション部　03-6229-0126